

スマートコミュニティが実現する未来



日立グループ 日立グループはEV用の急速充電器を展示した。コンバーター盤とスタンドを分離することでスタンドを小型化。さらに4台のスタンドを同時に稼働させることができる。操作端末機器も独立させた。コンビニエンスストアなど店舗内に設置することで、利用者を店内に誘導するといった効果も発揮する。

国内外のエコ技術が一堂に会した「スマートグリッド展2012」「次世代自動車産業展2012」。低炭素社会を実現する各社の取り組みを紹介する。



次代拓く技術披露

都市まるごとモニタリング

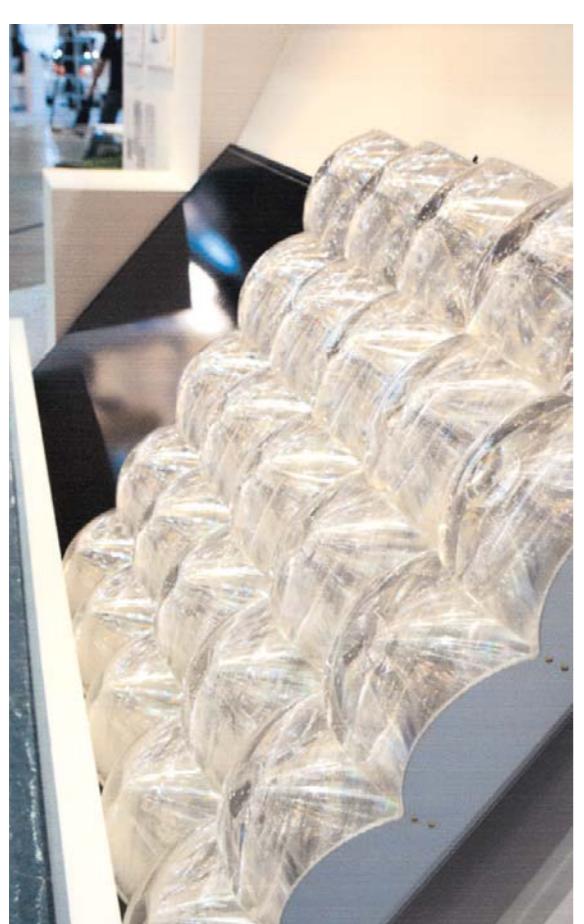


NTTグループ NTTグループはスマートコミュニティの都市ジオラマを展示する。都市全体の発電量、電力消費量、蓄電量をモニタリング。これら情報を収集、分析する。ピークカットのように状況によって電力供給を制御するシステムを新たな試みとして紹介する。



KISCO KISCOは自転車のスポークの回転することで発電する。一般的なブレード式で課題となる騒音を抑える。

大型室外機と組み合わせれば、室外機からの風で発電するといったユニークな機能を持つ。



NEDO NEDOはレンズと鏡を使って太陽光を集光する太陽電池「集光型太陽電池」を披露する。効率的に光を取り込み、変換効率を高める。サイズを小さく抑えられるため、レンズ奥に配置したパネルを小型化できる。展示品のパネルでは約1度の角を実現。材料コストを削減する。

エコホールディングス エコホールディングスは、曲げることができる軽量太陽光電池を使つた未来農業を提案する。CIGS(銅・

アルミニウム・ガリウム・セレン)の化



アルミニウム アルミニウムは植物工場システムを提案する。独自の栽培法で、設置が容易といふ。アーリーハウスへの採用が容易になる。

生かした自社生産でコストも抑えられた。

養液の受け皿を1段につき4列に分割、一つの大きな皿で受けれる競合製品よりも、養液の量を少なくできる。

生かした自社生産でコストも抑えられた。

養液の受け皿を1段につき4列に分割、一つの大きな皿で受けれる競合製品よりも、養液の量を少なくできる。

次世代自動車産業展2012



ゼットエムピー

ゼットエムピーはヒト型ロボットの技術を応用した「ロボカーナビ」を使った事故多発地点

「HVV」を紹介する。トヨタの

注意喚起や事故時の事後検証

「HVV」をベースに日

本マイクロソフトと共同開発した。車両、走行情報をクラウドに上げ、遠隔でモニタリング。カーナビを使った事故多発地点

「HVV」を紹介する。トヨタの

注意喚起や事故時の事後検証

「HVV」をベースに日

バイオマスエキスポ Biomass Expo 2012



住友建機・住友重機械工業・住友林業は、一般には目にすることができない林業用のプロセッサー(造機)を披露する。プロセッサーは伐採した樹木の枝払い切断をする機械。

住友建機・住友重機械工業・住友林業は、一般には目にすることができない林業用のプロセッサー(造機)を披露する。プロセッサーは伐採した樹木の枝払い切断をする機械。

目指せ「低炭素社会」

災害時避難スポットにも



エネルギー状況「見える化」



東芝 東芝は東京・港区をイメージしたジオラマで都市のエネルギー制御システムを解説する。制御施設である「コミニティセンター」を中心として、晴天時に発電した電気を曇天を画面に示す。

東芝は東京・港区をイメージして、街に供給する様子が詳しく分かる。エネルギー状況を画面で「見え化」。充電スタンドを利用するエネルギー化。充電スタンドを画面で「見え化」。電気自動車(EV)の充電量などを

住友建機・住友重機械工業・住友林業は、一般には目にすることができない林業用のプロセッサー(造機)を披露する。プロセッサーは伐採した樹木の枝払い切断をする機械。

